



長 崎 県

中小企業家同友会

DOYU

ニュース 21

E-mail jimu@nagasaki.doyu.jp
U R L http://www.nagasaki.doyu.jp

本部事務局 長崎市栄町1-20 大野ビル5F ☎(095)822-0680 FAX (095)824-4623

「私たち中小企業家が長崎県を牽引していく!」 ～経営を極めていく企業家集団 会勢730名を達成しよう～

長崎純心大学との包括連携協定書調印式 開催報告

日時：6月2日(金) 会場：長崎純心大学



長崎純心大学と長崎同友会は6月2日、包括連携協定書の調印式を同大学会議室にて執り行いました。長崎同友会は長崎ウエスレヤン大学と諫早支部の包括連携はあるものの、県としての連携事例は初めてとなります。長崎純心大学側から片岡学長をはじめ7名、長崎同友会からは松尾代表理事をはじめ同じく7名が出席しマスコミの取材もいただきながら式は無事滞りなく閉式しました。中村長崎県知事より「若者の県内定着に着実な成果を、『ひと』と『しごと』の好循環の実現を」という激励のメッセージもいただき、片岡学長は「長崎純心大学の就職希望者は100%の就職率であり、75%が県内就職という実績は県内で一番高い。この結果はこれまでの長崎純心大学の取り組みを評価いただいた結果であり嬉しく思う。今回の連携がさら

に実を結ぶことを願う」と挨拶されました。松尾代表理事も「形だけの連携ではなく今後互いに成果を出し、地域を活性化するために具体的な活動を」と述べました。

具体的には個別インターンシップの受け入れ、キャリア講座での講師派遣など学生と企業の接点を増やし、互いにさらなる「選ばれる企業」「選ばれる学生」を目指す取り組みが行われる予定です。

今回の連携協定は今後大きな可能性を見出すと同時に、大きなうねりとなり、長崎のさらなる活性化につながることを出席者全員で強く確認した調印式となりました。

(文責 事務局 峰 圭太)



目次

長崎純心大学との包括連携協定書調印式 開催報告	1	ブライアント(株)(佐世保支部 橋口会員)経営計画発表会 参加報告	13
6月例会報告	2	会員活躍	14
中同協 2017 中小企業憲章・条例推進月間キックオフ会議 参加報告	8	事務局企業訪問	15
中同協 第5回 幹事会 参加報告	9	入会・交代・復会会員紹介	16
第20回 女性経営者全国交流会 in 富山 参加報告	10	8月例会案内	18
ダイバーシティ委員会 第7回 例会 開催報告	11	理事会議事録 抜粋	19
中小企業のための反社会的勢力排除研修 開催報告	12	会員消息・会員数	20
第2回 政策委員会 開催報告	12		

長崎純心大と県中小企業家同友会

県内就職促進へ包括協定



協定書を取り交わした松尾代表理事(左)と片岡学長
＝長崎市、長崎純心大

長崎市三ツ山町の長崎純心大(片岡増美子学長)と、県内の企業経営者605人が参加する県中小企業家同友会(松尾慶一代表理事)は2日、同市内で、若者の県内就職を促し地域産業の発展につなげようとする包括連携協定を締結した。大学と経済団体の県全域におよぶ連携は初めて。

学内での合同企業説明会や、同友会会員企業による就業体験受け入れで、学生との接点を増やし県内就職率を高めるといふ。また会員による講演会などを通して人材育成を図りたいとしている。

松尾代表理事は「同友会会員が長年培ってきた605通りの経営スタイルを教科書として活用してほしい」と強調。片岡学長は「経営者の生の声を聞き学んでほしい」と話した。

(大田裕)

長崎浦上・長崎出島支部 合同慶祝例会報告

日 時	6月20日(火) 18:30
会 場	サンプリエール



対象者の皆様はボイスパーカッションによる入場で、テーマ曲は暴れん坊将軍でした。時々、音程が外れていたのはご愛嬌で、手作り間がたっぷりの入場となりました。

今年は浦上6名、出島6名が対象者で、浦上からは古稀で辻村さん、賀川さんのおふたり、還暦で三宅さん、厄入で、小川久郎さん橋本さんが出席されました。対象者の皆様のこれまでの人生を振り返るDVD放映の後、長崎浦上支部吉澤支部長より祝詞があり、記念品贈呈後、慶祝者を代表して3名の方より挨拶がありました。

その後、祝宴が始まり、長崎を中心に活動されている永田桃子さんのギター演奏を聞きながら料理・お酒を楽しみ、お腹がある程度膨れたところで、今度はセクシーな衣装のベリーダンス。なかなか盛り上がって



いたように感じました。最後に、ダイバーシティ委員会の皆さんによる仮装で「セーラー服を脱がさないで」の踊りがありました。この日一番の盛り上がりを見せ、会場全体で一体感をすごく感じる例会となりました。

最後に、慶祝対象者の皆様おめでとうございます。皆さんに喜んでいただき、私もいろいろと準備が大変でしたが、大変うれしく思いました。

(文責 長崎浦上支部 西本 俊昭)

慶祝例会冒頭の例年恒例の慶祝者紹介ビデオの制作は、上原さんが製作されます。今回、その上原さんが慶祝対象者となるために、依頼できない事態となりました。ということでその慶祝者紹介ビデオの製作を私が引き受けることになりました。本業の一つである健康食品販売の為にビデオの編集などをやっていた経験があるので楽勝だと気軽に应じてしまいました。しかし、この安請け合した内容がとんでもない事だと痛感しました。

まず、上原さんの会社に今回は私が製作する旨の報告と前年の製作過程をお伺いに行きました。外回りで忙しい時間をぬって約半日も付き合ってくださいレクチャーしていただきました。1枚1枚の写真の加工(明るさやトリミング)や並べる順番などは、動画の編集とは桁違いの作業でした。

慶祝対象者へ、ご挨拶の電話から始まり、可能な限り訪問して直にお話をお伺いしさせていただき、大切な写真をお借りしたりしているうちにお一人お一人のドラマを感じさせていただきました。ただ、先方と自分の時間を調整することが非常に難しく、今回の慶祝対象者の皆様にはいろんな意味でご協力をいただき大変感謝しております。

慶祝例会当日になり、金田さんと最終のナレーションの打ち合わせをしましたが、字幕の流れるスピードの配慮がたらずに、大変苦勞をかけてしまいました。言い訳になるかもしれませんが、あと一ヶ月早く準備をしていれば、皆さんにもっとゆっくりと準備ができたかと反省です。実は、上原さんの昨年の資料を見ると私より一ヶ月早く準備していました。ここに経験の差が出ました。

さて、例会本番の内容に戻ります、慶祝者入場のマーチ…ボイスパーカッション素敵でした。永田桃子



さんの歌声、一所懸命に歌ってくれました。ベリーダンス、一番前の席で見ました。やはり圧巻だったのはセーラー服の熟女ダンス。このダンスは毎年みたいものです。

過去に卒寿を受けられた島田さんがおられます。今回、喜寿を迎えられた皆様、是非卒寿、いや白寿をめざしていただきたいと思います。

今回、慶祝者紹介ビデオの苦勞話を書いたのは、私の事を聞いて欲しいのではなく、毎回上原さんがコツコツと作っていた当たり前の動画を自分で製作して改めて上原さんに感謝の気持ちです。また、今回の動画を家族にも見せたいと喜んでくださった対象者の皆様感謝です。浦上、出島両支部交流は年に数回しかありませんが、気持ちのいい時間でした。

(文責 長崎出島支部 大崎 悠史)

大村・諫早・島原3支部合同例会報告

日 時	6月21日(水) 18:30～21:15
会 場	諫早観光ホテル 道具屋
テ ー マ	会社における社員力 ～社員力を発揮するために～
報 告 者	(株)雲仙きのこ本舗 代表取締役 楠田 喜熊 氏

1日20tのきのこを製造し、農業の6次産業化を進め、海外にもその販路を広げている。古くからある食材を「健康」にフォーカスし、農業にイノベーションを起こしている。楠田社長は、従来の農家のあり方に疑問を感じ、営農者も経営を重視し組織化など意識改革が必要と考えている。

報告は、社内には販売力や開発力などいろいろな力がある。経営者は社内の力を見極め活かすことで、経



営を行っていく。経営力は社員力をどれだけ引き出せるにかかっている。ブレーキを分解して、構造を説明し、理解してもらうなど、物事の本質と道理を伝えたいという思いは強い。結果につながらないのは、



経営者とその力を上手く使えていないからだとの指摘は耳が痛かった。

また、経営者は常に決断を迫られるものであり、社員からの報告があつてこそ、その決定をする事ができる。連絡は内容が重複してでもすべきであり、相談してくれる社員は信頼することができる。社員からの報告連絡相談は、信頼の礎

になるとその重要性を語られた。

経営の中には常に人がいる。社員をどう育てていくか、どう商売をしていくか、この先どう展開し発展していくのかを計画し実行していかなければならない。仕事を任せる事のできる人を育てていく事と、常に相手に対してこちらの真意が伝わったのか、確認が大切との言葉に、私は自分の曖昧さを振り返り、反省の良い機会となりました。

各発表者からは、楠田社長の分析力が経営力の向上につながっていると、人間力を評する声が多く、基本を継続していく事、自社の強みを社員と共有する事、任せられる人を育てる事の大切さや、信頼関係の構築が決断力の礎になっているなどの感想が聞かれました。

経営者としての視点に改めて気付くきっかけをいただき、今後の自分の取り組みに少しずつでも確実に活かしたいと思う例会となりました。ありがとうございました。

(文責 大村支部 能塚 由久)

まず、冒頭に「会社は地域社会に必要とされていれば継続可能である!」「会社における力はいくつあるか?」(経営力・資金力・開発力・復元力・販売力・社員力・分析力・グローバル展開力)と問われ、自身を振り返った時に考え込んでしまい、会社を維持・継続していく為には、このような力が重要課題だと再確認致しました。

島原半島の経済を牽引されるまでに発展された楠田社長ですが、現在でも自らの行動力を発揮され更なる会社発展の為、日本中を走り回っておられます。私自身の行動力はいかなものかと改めて考えさせられました。

また、互いに人は人によって学び、成長し社員力が経営力に変わり、発展力が加わり、展開力となる。会社は携わる全ての人によって日々支えられ成長して行く、その為には、常に謙虚な心と常に初心の考えが大事であると学びました。



当たり前かもしれませんが自分が手本となり、社員力をあげて発展し地域社会に貢献出来る会社を目指します。

(文責 諫早支部 山崎 三郎)

奥様に感謝の意を述べることから始められた楠田社長のお話、私にとって貴重な学びの場となりました。私が印象に残っているのは大きく3点です。

・1点目「報連相の大切さ」

ある日プレーキパッドがすり減るトラブル発生。楠田社長はそのトラブルの当事者を責めることはなく、周りにいる社員こそトラブルを起こしそうなところを見越して防ぐ処置が必要と指摘。冒頭、座長である落

水さんの楠田社長の紹介にあったように、人に対する気配りがすごい、分け隔てしない方、この人間性が表れたエピソードです。労働人口が減っていく中、私たちは日本人以外とビジネスや共に働く機会は増えていきます。この楠田社長の考え方がこれからの時代のヒントになります。楠田社長は「社員さんとして任される人は常に報告する習慣があつて、自分の裁量以上のものは上司や担当者へ判断を仰ぐ人」とされています。



・2点目が「養々麺を事例とした海外展開のきっかけ」

養々麺の海外展開のきっかけは、日本の外交官や商社の営業マンが非常食として海外へ持って行く。そのうち現地で調達したい、海外で販売してくれと声が上がりはじめ。他社から商品を取り扱いたいと話しがくる、という流れ。こちらから営業するのではなく正に商品が営業マンになり得る。

・3点目が「農業者に人を雇うことを提案した時、ほぼ返ってくる反応」

人を雇い、農業法人としてやってみては？と提案。すると人を雇うと大変、仕事が無いときに休めと言えない等、毎回同じ様な答えが返ってくる。確かに人を雇うと苦勞もある。しかし社員さんの仕事をつくるのも仕事だし、それが苦勞以上のやりがいになり得る。そもそも経営者自身が病気になったらどうするのか、



と話される。正に私自身が人材を増やす岐路にいたため心に残りました。

楠田社長のお話をお聞きして、人との接し方・考え方など人間が生活する上で基本的なこと大切にされている方と感じます。その上で常に優先順位の決定を心掛け、ビジネスを計画した上で仕掛け実行されています。それがきっと世の中に必要とされている雲仙きのこ本舗さんになられている所以だと学びました。私もそのようにありたいです。

(文責 島原支部 荒木 亮)

佐世保支部 例会報告

日 時	6月16日(金) 18:30～21:00
会 場	アルカス佐世保 3F 大会議室
テ ー マ	働くためにも遊ぶためにもまずは元気な体から！ ～開業から1年を振り返って～
報 告 者	整体院みずたま 院長 平山 祐二 会員



平山さんは「鍼灸院みずたま」を昨年4月に開業後9月に同友会に入会され、経営者としても同友会歴も浅いですが、大学生の時に鍼灸師になり「佐世保の人たちを元気にしたい！」という強い思いを持って鍼灸師としての道を歩むために京都の専門学校に進みました。しかしその専門学校が倒産、大阪の専門学校に転校することになりました。その後大阪の会社に就職す



ることが出来た事で、施術技術と自費治療（保険適用外）のノウハウを学ばせてもらい、今の「整体院みずたま」の開業に至ることが出来ました。

「佐世保の人たちを元気にしたい！」という思いを達成するために、家族を大阪に残したまま（現在は佐世保で同居）単身で帰郷し開業しました。最初は実家の居間を改造して、もちろん顧客もゼロからのスタートでしたが友人知人の助けを借りて無事営業を継続する事が出来ました。

しかし今年に入った頃から顧客数が減少していき現店舗（実家）での営業に限界を感じるとともに、将来長崎県内10店舗の目標を達成する為の始めの一步として、4月に新店舗を構える事となりました。

同友会は先輩経営者の方々の心に響く言葉やお話を聞くことができ大変勉強になっているそうです。そし

て昨年の12月には佐世保支部の経営指針作りセミナーに参加し、経営指針の必要性を感じ9月に経営発表会を行うと宣言されましたので9月の発表会を楽しみにしています。

（文責 中島 禎雄）

北松浦支部 例会報告

日 時	6月21日(水) 18:30～20:30
会 場	サンパーク吉井
テ ー マ	経営資源(ヒト・モノ・カネ)について
報 告 者	(株)エイコー商事 代表取締役 富川 栄治 会員(経営資源(カネ)) (株)スタイルマート 代表取締役 堤 直司 会員(経営資源(モノ)) 木場田社会保険労務士事務所 所長 吉田 大 会員(経営資源(ヒト))



今回、新入会員としてバッジ授与されたのは(株)ミラクルあおば 横田博幸さん。これから一緒に楽しく学びましょう!!! よろしくをお願いします。

例会の報告としましては、「ヒト」…不払残業代・不払賃金のニュースがクローズアップされる昨今、

1円も残業代を間違わずに計算している中小企業は皆無とのこと。そこで、1円の誤差もなく完璧に残業代を計算できるために、残業代の計算方法をいちから解説いただきました。これであなたの会社も大丈夫!!!

「モノ」…モノを売るためのマーケティングに関する話をいただきました。商売を繁盛させるためには市場シェア1番になる必要があります。1番になるには、①場所(市場)狭いマーケットでも1番になれば繁盛します。②自社の価値観を顧客視点で考える、



こういった考えが必要とのこと。

「カネ」…銀行合併による経営への影響について話をいただきました。合併により「融資額が増大」「選別される」「自己アピールが必要となる」「取引銀行を増やす」などの影響が考えられます。さらに、しっかりした経営が求められるため銀行から「経営計画書」の提出を必ずと言っていいほど求められます。きっちり経営計画書を作成し、すぐに着手しましょう!

感想として、「ヒト」…これまで残業代の計算も含め給与計算は担当者に丸投げでした。法律で給与の計算方法や残業代の計算が決められていることを初めて知りました。しっかり計算していこうと思います。

「モノ」…お店はお客様の評価で決まるということが大事だと気付きました。

「カネ」…今後長崎県では銀行の合併が予定されています。しっかり経営計画を立てて説明できないと、融資が受けられなくなったりして資金繰りが悪化する中小企業が増えるかもしれません。そういった事態にならないように同友会の中で経営計画についてしっかり勉強して、経営計画書を作っていきたいと思いました。

（文責 吉田 大）

五島支部 例会報告

日 時	6月16日(金) 18:30～21:00
会 場	福江総合福祉保健センター
テ ー マ	財務を経営に活かすには(基礎編)
報 告 者	税理士法人ウィズラン(平戸オフィス) 代表社員 松永 いづみ 会員(北松浦支部)

今回は北松浦支部より、税理士業務でご活躍されている松永いづみさんにおいでいただき、報告スタイル

ではなくセミナー的に例会を行いました。

五島支部で以前アンケートをとった際に、同友会で学びたいことで意見が多かった会計に関する内容を、現在活躍されている税理士さんから直接学べるということで、当日が楽しみでした。

皆さんは決算後に損益計算書や貸借対照表、決算書などをどのように見ているでしょうか? 恥ずかしながら私は、売上がどのくらいだったのか? 黒字なのか赤字なのか? どの経費がどのくらいかかっているのか? というふうに漠然としか見ていませんでした。今回はそ



の正しい見方を松永さんより質問を交えながら丁寧に説明していただきました。参加した会員からは、「初歩的なことだったけどあらためて説明していただくとハッキリと理解できる」という声も聞かれました。テーマにもあるように、まだまだ基礎編でしたので松永さ



んには次回は中級編をお願いしたいと思っております。

また今回は会員となった木場さんのバッジ贈呈も行い、五島支部の会員が一人増えました。今後も会員に「きづき」があるような例会を続け、その上で会員が増える五島支部でありたいと思った例会でした。

(文責 勝本 政裕)

青年経営社会 例会報告

日 時	6月18日(日) 13:00～
会 場	マリンショップ MORE(昼の部) ZAC 長崎中央店(夜の部)
内 容	慶祝例会



今年の慶祝対象者は橋本会長をはじめ小川さん、塩見さん、安井さん、峰事務局次長の5名でした。

今回は例年と違う趣向で企画し、昼の部と夜の部の2部構成にしました。

昼の部では、慶祝対象者の方々にフライボードを体験していただきました。

フライボードは水上バイクから噴出される水を利用して、水圧で海面から浮上できるマリンスポーツで、慶祝対象者の方々にはこれを機に今よりもっともっと羽ばたいていただきたいという想いで企画しました。全員初体験という事で最初はなかなか立ち上がるこ



とも困難でしたが、時間が経つにつれ徐々にコツを掴み、浮上している姿を見ることができました。体験後は皆さん晴々とした表情でまたやってみたいなどの感想

想をいただき大変満足していただきました。

そして夜の部はZAC中央店で開催、昼の部の感想や仕事のことなどを語り合い、夜更けまで大いに盛り上がった一日となりました。

今回は日曜日開催ということでなかなか都合をつけにくい状況ではありましたが、たくさんの会員の方々にご出席していただくことができ、本当にありがとうございました。

5名の慶祝対象者の方々のこれからのますますの御発展を祈念し、例会の報告とさせていただきます。

(文責 吉川 裕也)



中同協 2017 中小企業憲章・条例推進月間キックオフ会議 参加報告

開催日時：6月6日(火) 会場：衆議院第一議員会館 大会議室

代表理事 松尾 慶一

毎年恒例のキックオフ集会在、衆議院会館の都合から会議と名称の変更がなされての開催に一抹の寂しさを感じたのは私だけだったのでしょうか？それでも180名と年々参加者も増えて、出席される国会議員も40名を超え、同友会の認知度も高まってきたと感じました。その中で我が長崎県からも谷川弥一氏、北村誠吾氏、高木義明氏、古賀友一郎氏の出席と挨拶をいただきました。

数多くの議員からご挨拶が有りましたが、基本的に政策や実績の話をされる中に、谷川弥一氏が、「ここに来たのは、そこに座っている長崎の松尾さんから呼ばれたから来た。この人は地域の為に頑張っているので尊敬している。」と冒頭発言され、びっくりして赤面しました。

それから、一代記を披露され松井専務幹事からタイ



ムオーバーで話を終えていただく一幕もありました。お陰様で全国の同友会の役員さん達から、「松尾さんは一躍全国の有名人になったね。」と冷やかされる始末です。しかしながら、この様に開催される中同協の大会に多くの国会議員さんが協力的に出席していただけるのは大いに意義のある事だと実感いたしました。

副代表理事 金井 政春

この度初めて中小企業憲章・条例推進月間キックオフ会議に参加して参りました。今年で中小企業憲章が制定されて7周年です。全国から180名の幹事を中心とした会員方が参加しました。

衆議院経済産業委員長の浮島智子氏の挨拶からはじまり、その後は衆参国会議員、与野党を問わず総勢40数名の参加が有り熱気ある会議になりました。

同友会からの主要要望事項は①中小企業憲章は国民

総意です。国会決議をめざしましょう。②中小企業を軸とした経済政策の戦略立案を進めるため、首相直属の省庁横断的機能を発揮する会議体を設置しましょう。③中小企業担当大臣を設置しましょう。④中小企業庁を中小企業省に昇格させましょう。⑤中小企業の日を設けましょう。

以上の5点を重点目標に全国各地の同友会が積極的に粘り強く取り組むことを確認しあい閉会となりました。

事務局次長 峰 圭太

2010年に閣議決定された中小企業憲章制定から7周年を迎え、今年もキックオフ会議が開催、参加させていただきました。最終的には全国から会員、担当事務局員約180名、国会議員の方が40名近く参加、各方面からの意見や報告があり盛会となりました。

中小企業庁高島経営支援部長からは同庁の施策等が報告され、全国的に人材が不足する中、3月に「人手不足対応ガイドライン」が発表された取り組みなど学ばせていただきました。商工会議所など4団体から進捗報告を、福島同友会からも条例の事例報告をいただき第1部が終了、第2部からは国会議員の皆様から①憲章の国会決議 ②中小企業の日制定について ③中小企業予算について、発言をいただきました。全体的に

は超党派で上記3点への前向きな取り組みを発言いただき少しずつですが成果として表れてきたように感じました。

この憲章・条例制定運動は単に何かを要望することではなく三つの目的の総合実践のために、また会員企業が発展し真の日本経済の担い手として地域になくてはならない存在であることを国民の総意として必要な運動であることを再確認した会議となりました。長崎では大村市、松浦市、平戸市、雲仙市、そして長崎県に振興基本条例が制定されています。今後各自自治体すべてに制定されるだけではなく、条例や振興会議、支援センターを活用し、地域が活性化するように、同友会がプロデュースするという覚悟で臨みたいと思います。

中同協 第5回 幹事会 参加報告

開催日時：6月7日(水) 13:00～17:00 会場：TKP市ヶ谷カンファレンスセンター

代表理事 松尾 慶一

3月の幹事会以降の活動報告では、中同協役員と事務局のキックオフに賭ける努力が報告されました。鋤柄会長以下の皆さんが各種団体や国会議員の皆さんへ日参されキックオフ会議の成功に努力されました。

また、2月の鹿児島で開催されました第47回全研の報告の中で1,186名中、長崎から42名の参加をいただいた事に今の長崎同友会の元気な強さを感じました。収支については、315万円の余剰金が報告され、大成功をおさめられました。経費の明細等を克明に研究して長崎における全研の成功に取り組んで行

くと決意しました。

中同協関西ブロック支部長交流会に155名、中日本ブロック支部長交流会・代表者会議に69名、第29回中同協役員研修会が長崎県大村市で開催され150名の参加で具体的行動計画と決意がなされました。

そして残念な事に、鋤柄会長と松井専務幹事が退任される事になり、6月6日に松井さんの歡送会が行われ7月7日に鋤柄さんのご苦労様会が惜しまれながら開催されます。役職は降りられますが、これからも我々の為に指導いただけるものと思ひ益々のご健勝を祈念申し上げまして報告に替えさせていただきます。

副代表理事 金井 政春

昨日のキックオフ会議、本日の午前中の九州・沖縄ブロック代表者会議に続き、開催されました。

全国行事の経過報告並びにこれから開催予定の行事についての審議でした。全国各地の取り組みは開催意義を明確にして、綿密な打合せのもと、開催されていて長崎同友会としては反省すべき所も感じられました。反省すべきところは反省し2019年2月の「中小企業問題全国研究集会 in 長崎」の大成功を目指し取り組まなければとの思いを強く感じながら、今年の鹿児島全研、来年2月の兵庫全研の経過報告を、意を強く持って聞いてまいりました。

その後、15時より加藤人を生かす協議会代表から

「人を生かす経営実践に向けて」と題した問題提起があり、1時間のグループ討議がありました。

私のグループは東京の三宅代表理事、北海道の安井副代表理事、問題提起された愛知の加藤会長、大阪、宮崎の事務局長とそうそうたるメンバーでのグループ討論になりました。人手不足と「働き方改革」についての討論でしたが、問題の認識の甘さ、対応の遅れが著しいのは勿論私でした。よって後半30分程は皆さんで私の問題解決につて多くのアドバイスをくださいました。

加藤会長の「金井さんの為のグループ討論だったね」、の一言が非常に有りがたかったです。17時に終わり19時の飛行機を目指して…同友会潰けの爽りの多い2日間でした。

事務局次長 峰 圭太

中同協定時総会前、最後の幹事会に参加させていただきました。第1部では各全国大会、交流会等の進捗や開催結果報告に伴う報告、審議がなされました。長崎からは松尾代表理事から5月の中同協役員研修会について設営のお礼と開催報告をしていただきました。

一通りの審議事項が済み、第2部では愛知同友会加藤会長から「人を生かす経営の実践に向けて」と問題提起をいただき、グループディスカッションを行いました。短時間にまとめた問題提起でしたが、企業づくりとしては、「企業としての基本姿勢の確立のために魅力ある企業づくりの大切さ」＝「若者や地域に選ばれる企業づくり」、「経営理念を日常の企業活動に反映させる」など、また同友会づくりでは「本質的な経営課題を発見する支部づくり、委員会づくり」など謙

虚に、そして貪欲に同友会での学びを実践された内容でした。

何よりも、小グループ活動を通して企業訪問を行い、互いに顔が見える関係をつくり、その人の立場になって真の経営課題を発見することの大切さ、学び方を学ぶ例会づくり、そして支部では解決できない専門的な課題を委員会活動で解決するという提起は、事務局としてどのような同友会づくりが会員企業のためになるのかという課題に大きなヒントをいただきました。

現在事務局は支部活動はもちろんですが、委員会活動に注力する方向性を会として確認いただいています。例会以外に会員の皆さんが参加できる場づくりだけでなく、さらに各方面との連携を密にし、専門的な課題を解決し、企業経営に生かすことができるよう常に問題意識をもって日々の業務にあたることを再確認させていただきました。

第20回 女性経営者全国交流会 in 富山 参加報告

開催日時：6月15・16日(木・金) 会場：富山県民会館・富山第一ホテル

第4分科会

社員ファースト経営への変革で新事業創出

全社一丸となり、新事業で新たな可能性への挑戦

ウェブクリエイティブ(株) 代表取締役 岡山同友会 石橋 史恵 氏



事務局 田口 友廣

WEB制作・WEBシステム構築を行う石橋さんの起業のきっかけは、主婦だった時にインターネットに出会い、衝撃を受けインターネットを世の中に広めたいという気持ちからでした。すぐに業績は伸び、社員数も50名になりました。しかし一人の社員が社内のパソコン盗難事件を起こし、それをきっかけに全社員が退職、データ流出の損害補償とシステム復旧のために1,000万円の借金。どうにもならなくなった時に、同友会に入会します。

それまでは社員はただ作業をしてくれる人と思っていた石橋さんは経営指針成文化に取り組むことで、社員はもっとも頼りになるパートナーであることを学び、社員の幸せを一番に考える経営をしようと考えようになりました。社員が成長できる会社そして、社員の将来に責任が持てる会社にしようと、取り組んだのが数字の公開です。これが変革の始まりとなり、社内のシステム化に取り組めますが、社員の抵抗もありました。そこで「なぜそうするのか」を理念に沿って、数字に基づきながら、時間をかけてとことん話し合っていました。今ではシステム化により社員全員が日々の収支を見ることができるようになり、科学性を捉えた仕組みづくりは確実に利益につながり、社員も自主的・主体的に動くように成長しました。

社員を真のパートナーととらえ、信頼関係のもとに社員を巻き込み、任せることにより社員が成長していく、そしてその社員たちが自ら仕事を作っていくとい



うことを学ばせていただきました。

また、石橋さんの「社員は会社を選ぶ権利がある」という言葉から、社員に本当のパートナーになってもらうために選ばれる会社づくりをしなければならないということをひしひしと伝えていただきました。

2日目は昭和女子大学 坂東総長の講演でした。女性活躍の時代がどのように変遷してきたのか、新しいタイプのリーダーシップとは、どう部下を育てていくか、そして働き方改革にいたるまでお話しをいただきました。

これからの経営戦略として女性活躍を考えないとビジネスが立ち行かなくなってきたり、また女性だけでなく様々な人が活躍できるダイバーシティ経営が大切で、その人の特性を生かした機会を提供することが肝要であることを学びました。

そしてサーバント(奉仕する)リーダーシップやインクルーシブ(巻き込み型)リーダーシップの紹介がありました。これまでのリーダーが先頭に立って引っ張っていくというものとは異なり、リーダーが部下に奉仕する、いろんな価値観を持つ人を巻き込んでそれぞれの力を引き出していくというこれからの時代の新しい形のリーダーシップについて学ばせていただきました。

また「人間は期待されないと伸びない」ということを話され、そのために上司は部下が何をできるのかしっかりと見て、頑張ればなんとかできる能力の110%の目標を与え続けることが成長につながっていく、部下と競争するのではなく自分より優れた部下を育て応援していくことがリーダーとして必要であるということを学びました。

2日間を通し、経営者は社員を良く見て、社員の特

性を生かすことが大切であり、そのためには社員と一緒に取り組み、共通の高い目標が必要であることを伝えていただき、経営指針と人を生かす経営の大切さについて深く学ぶことができました。

とても学びが多い2日間でした。参加させていただきありがとうございました。

ダイバーシティ委員会 第7回 例会 開催報告

開催日時：6月19日(月) 18:30 会場：サンプリエール

テーマ：もはや他人事ではない!! ～『認知症』を正しく理解しよう～

報告者：山の手クリニック 主任介護支援専門員 秋元 靖博 氏



女性部会・障がい者問題担当委員会から「ダイバーシティ委員会」へ名称変更後、初めての例会でした。「高齢者問題」にスポットをあてて、認知症介護指導者の秋元さんに報告いただきました。

秋元さんは「認知症を正しく知っていただきたい」という思いで普及活動をされています。実際に患者さんの生活に関わっているケアマネジャーでもあるので症状をよく知っておられます。

“認知症”は正常に働いていた脳機能が脳の病気や障害などによって低下し、日常生活に支障をきたす状態で、その数は約70種類に及ぶと言われています。

認知症と診断された方は、記憶障害や見当識障害などと言われる“中核症状”がありますが、いわゆる問題行動と言われる“周辺症状”（徘徊、不眠、暴言暴力、異食等々）が起こらない方も多くいます。不適切な言葉掛けや行動の制限など周囲の関わり方、本人の体調の不調などによって出現するもので周囲の関わり方が非常に重要です。認知症＝問題行動ではありません。

平成27年度、長崎市には15,670人の認知症高齢者（医療機関受診者）がいらっしゃいますが、受診していない方など隠れた認知症を含めると実際は2万人近くになると推測されます。そして、認知症と“加齢による物忘れ”は異なります。加齢による物忘れは体験した事の一部を忘れる事で、認知症は体験自体を覚えていないという違いが一つにあります。

ご家族やご自身に以前と違った行動が起こると気づ



いたら早期受診する事や地域にある地域包括支援センターに相談する事を勧められました。

近年増加傾向である認知症のご夫婦同士が介護し合う“認知介護”や息子・娘・嫁など若い介護者が仕事をしながら親の介護のために欠勤・遅刻・早退など仕事への影響を考慮して離職するケースが深刻化しています。更にそういう介護者が“介護うつ”になったり、介護放棄・虐待をするなど精神的・身体的負担に多く悩まされています。これには周囲の理解と協力が必要です。地域包括ケアシステム（地域の中で医療と介護が連携し、住み慣れた自宅、地域で暮らし続けるという国の政策）等を理解し、家族介護者の負担を減らす事が介護疲れの解消や離職防止に不可欠です。

規則正しい生活習慣で認知症を予防し、認知症の事を正しく理解。実際に認知症介護に携わっている方は一人で悩まずに相談機関や専門職、周囲の方々に相談し、介護サービスを上手く活用しましょう。

(文責 島原支部 川上 貴弘)

中小企業のための反社会的勢力排除研修 開催報告

開催日時：6月27日(火) 19:00～20:30 会場：つくば倶楽部

テーマ：中小企業のための反社会的勢力排除研修 ～初步の初歩から～

報告者：虎ノ門法律経済事務所 長崎支店 支店長・弁護士 鮎川 泰輔 会員(大村支部)

山下・川添総合法律事務所 弁護士 佐藤 敬弘 会員(大村支部)



反社会的勢力は他人ごとでは有りません。反社会的勢力はその形態が多様であり、社会情勢等に応じて変化し得るため、隙を見て私たちの事業所や取引業者を通じて知らぬ間に反社会的勢力の魔の手が忍び寄り蝕んでいきます。反社会的勢力に対する利益供与に関わった事業所は暴力団排除条例違反、発注者からの指名停止、金融機関の融資の停止、世間からの信用低下、社会的制裁、最終的には社員や株主も含めた事業所自身が多大な被害を生じます。よって私たち企業は健全な経営を守るため、反社会的勢力排除の対策を講じなければなりません。これらの知識、対策、対応を得るため、大村支部が誇るエリート弁護士集団、鮎川さん、佐藤さん、両弁護士による反社会的勢力とは？又その対策とは？を自ら演出し本格的サスペンスドラマ仕立



での映像を交えての研修会でした。

建設会社社長扮する主演の鮎川さん、建設会社に融資する取引銀行の顧問弁護士扮する佐藤さん、建設会社の取引業者を通じて反社会的勢力に関わった場合の恐ろしさ、その対応が迫真の演技により、面白く、可笑しく、分かり易く、参加者全員がより良く理解出来たと思います。上映途中、音が出ないトラブルが発生しましたが、そこは敏腕弁護士！無音のドラマ映像が流れる中、両弁護士の絶妙なコンビネーションの解説により、無事上映が終了しました。

最後の説明の中で事業所に反社会的勢力の不当要求に直面した場合、具体的な対策として社内で担当者を決めて対応する(社長に対応させない)。多人数で対応。即決は行わない。外部専門機関(暴追センター、弁護士)との連携。又、取引業者を通じて反社会的勢力関わり防ぐため反社会的勢力でないことに関する表明・確約書の作成を行うことが重要である事の説明が有りました。兎に角、反社会的勢力に関してトラブル悩み相談等がある場合解決の近道は大村支部が誇るエリート弁護士集団、鮎川さん、佐藤さんに相談することが一番と思った研修会でした。

(文責 大村支部 浦郷 学)

第2回 政策委員会 開催報告

開催日時：6月30日(金) 会場：テラスフィールド

県政策委員会は今期2回目の委員会を大村：時さんのお店、テラスフィールドで開催しました。8月4日(金)には毎年恒例となっている長崎県産業労働部との意見交換会を控え、当日の流れやテーマ等を協議しました。今回の企画は平田産業労働部長と長崎同友会松尾代表理事の対談形式で進めます。中小企業の現状、県の施策など行政ともしっかりと近い距離で対話を進め、会員企業の経営の一助になればと思います。e.doyuでは案内済みですので皆様のご参加、よろしくお願いいたします。



また委員会開催当日は長崎出島支部：柿川さんの65歳の誕生日でもありました。参加委員の皆さんと誕生日を和気あいあいお祝いし、その中にも経営課題を議論するなど同友会らしい委員会開催となりました。

政策委員会は中小企業憲章や条例制定運動など活動内容が難しいイメージを持たれている会員も少なくあ

りませんが、今後政策委員会は楽しく、活発な意見交換を行いながら三つの目的の1つ、「よい経営環境をつくろう」実現に向け活動していきますので皆様のご参加、お待ちしております。

(文責 事務局 峰 圭太)

プライアント(株)(佐世保支部 橋口会員) 経営計画発表会 参加報告

開催日時：6月22日(木) 会場：九十九島ベイサイドホテル&リゾート フラッグス

【参加者の声】(紙面の都合により抜粋)

1. 昌明機工(株) 中島 禎雄

1年かけて作って行く事で活用できると思いました。

2. (有)カワカミ 川上 利夫

一人一人のスタッフが自覚をもって発表会にあたっていたと感じた。

3. (有)エムズ 川下 眞文

若い社長が引張り社員個々がヤル気を持ち頑張っている会社は「カッコ良い」。

4. (株)広告のアクセス 山領 進

全般を通して感じるのは、社員さんが自らが係わるワンシーンで主役として輝いていること。

5. ニコット・サービス(有) 江口 陽一

責任を持たせることで社員は頑張ることを目のあたりしました。

6. (株)福祉工房K's 豊福 和明

考え方、行動力が一人一人の発表にも力強く表現されており、発表会を十分に活用されていました。

7. (株)野田武一商店 野田 洋市

厳しい年月をむかえられた話を聞き、その渦中にあっても橋口さんはこの発表会でスタッフと共に労をねぎらう姿もイメージされていたのではと感じました。

8. (株)PMC 佐藤 安司

社員の皆さんがお互いに認め合い切磋琢磨している。

9. 社会福祉法人 宮共生会 原田 良太

社員の方の表彰等、全体で認めあっていく場面も多くあり参考になりました。

10. (株)きゅーぶ 岡本 武志

本日の発表会でより一層強くなって行くことが間違いないと感じ取ることが出来ました。

11. (有)山崎マーク 山崎 秀平

社員さん一人一人が「常に考える」姿勢は私の会社でも実践したいと思います。

12. (有)片桐計量器店 片桐 孝章

橋口さんの笑顔は素晴らしく社員の方とは一致団結。発表内容も充実されて今後の発展も間違いなし。

13. (株)佐世保福祉 綿川 淳子

社員の皆様が真摯に業務・職務に取りくんでおられる姿をしっかり感じ取らせていただきました。

14. (有)前川建材店 前川 優也

私が一番楽しみにしていた個人目標の発表ですが、やっぱり最高でしたね。社員の皆様がイキイキと発表されている姿に感動しました。

(文責 佐世保支部 経営労働委員長 前川 優也)



会員活躍

長崎新聞 6月7日 佐世保支部 原田 良太 会員

高齢者や障害者、子育て世帯…

地域交流の拠点に

地域交流拠点「こちやまぜ」の利用方法について、意見交換と運営協議会の初会合。佐世保市椿町。



「こちやまぜ」は国土交通省の「スマートウェルネス拠点整備事業」の一環として、住宅建て替えに伴う余剰地を有効活用し、市が昨年度は多様な世代の交流促進を目的に、住宅団地などに拠点施設を整備する民間事業者らに費用の最

「こちやまぜ」開所

高齢者や障害者、子育て世帯など幅広い世代の交流を図ろうと佐世保市の社会福祉法人「宮共生会」（原田千津子理事長）が、市営花高一住宅に隣接する椿町町の市有地に地域交流拠点センター「こちやまぜ」を開所した。子どもや高齢者が一人で食事をする「孤食」を防ぐと「地域共同食堂」の運営などを目標としており、地元住民らと協議を始めた。

放課後支援や食堂など 運営の在り方、住民ら協議

今年3月に木造2階建て（延べ床面積440平方メートル）が完成し、障害者や家族向けの相談支援センター▽障害のある子どもを放課後や休日に預かる「放課後等デイサービス」▽地域交流スペース▽厨房・食堂の機能を備える。厨房・食堂は、家庭の食材を持ち寄って食事を提供する「地域共同食堂」としての活用を考えている。相談支援センターとデイサービスはすでに事業を開始。5月下旬には市立花高小やPTA、地元自治会、市社会福祉協議会と運営協議会の初会合を開いた。

（長川裕之）

本県トップは谷川建設

16年の九州 沖縄 建設業売上高

東京商工リサーチ福岡支店によると、公共工事は2016年九州全体の受注が好調だった。沖縄地区の建設業売上高内組が年々伸びて、6社の売上高合計は前年比2.3%減の569億円で、全体の15位だった。

16年に決算を終えた売上高50億円以上の企業が対象。本県企業は▽協和機電工業（長崎）1億1100万円、前年より5社少ない1億1100万円がランキン▽上通（同）84億9000万円、売上高合計は1.6%減の70億9000万円。建設（同）70億9000万円、減の1兆5659億円で、佐世保市68億9000万円。公共工事、マンション組（同）50億9000万円の計6社。調達が、太陽光関連工事は大口工事の減少で、事が減少した。（森田尚子）

長崎新聞 6月22日 長崎浦上支部

谷川 喜一 会員

ARIMITSU CAFE

寄って みんなね!



オーナー 有光 亮太さん(36)

佐世保市八幡町

サッカー、J2のV・フアレン長崎を引退後、サッカー教室を開いている佐世保市内に5月16日、オープンしました。人気は「氷カフェフロア」

氷カフェフロア人気



「です。ミルクの中にコーヒーで作った氷を入れた飲み物で、ジャージー牛乳のソフトクリームをトッピング。これから暑い季節にオススメです。パナソニックのホットサンド「佐世保パニーニ」もテイクアウトに喜ばれています。たつぷりのチヂミーやズッキーニなどが入っています。クッキーやケーキを佐世保の定番の土産にしたいです。不定休。営業は午前10時～午後7時。電話0956・37・8813。（山口隆行）

「松浦のお知家」味わって



完成したペットボトル飲料「松浦のお知家」

法知園 一番茶使った飲料開発

松浦市志保町の茶の製造販売「法知園」（井手眞悟社長）が市の支援事業を活用してペットボトル（500ミリリットル）の清涼飲料水「松浦のお知家」を開発し、市内に約50軒の茶畑を所有しており、松浦が茶の生産地であることの認知を高めるため社として開発を決めた。井手社長は「ぜひ味わってほしい」としている。この茶は使用する茶葉は「一番茶」で、1本160円（税込み）。すでに同社のギフトボックスなどで販売し、今後はコンビニなどに販路を拡大する予定。

完成報告会で、友成郁洋市長は「完成を大変うれしく思う。消費者に届けるためのPRをバックアップしたい」と述べ、井手社長は「まずは多くの市民に良きを知ってもらい、土産品として全国にPRしたい」と話した。（前田敏宏）

長崎新聞 6月6日 北松浦支部 井手 眞悟 会員

事務局企業訪問

今回の企業訪問は若き佐世保支部のリーダー、原田良太会員にお話を伺いました。

＜地域と共に、宮共生会＞



現在市内8か所において障がい者の就労支援施設を展開する宮共生会。原田家が市町村合併前の「宮地区」出身ということもあり“地域と共に生きる”意味を込めてその屋号に決めたそうです。宮共生会の立ち上げは1999年に遡ります。もともと市の職員であった原田さんの父

親が地域からの声を受け、あくまでもグループホームではなく通所、いわゆる日中働くことができる場所の開設に向け勉強会を開始しました。その後社会福祉法人の申請を行い立ち上げに至るのですが、原田さんご自身は3兄妹の末っ子、当時瓦関係の仕事に従事していた際に父親から事業を手伝ってほしいと声がかかります。事業の全体像が見えない中、父親からも「この先どうなるかわからないが事業の失敗はできない」という中、原田さんの宮共生会での新しい人生が始まりました。

障がい福祉の業界は常に制度と向かい合わなければなりません。2003年までの制度では「行政措置」という形で利用者の紹介は行政が行っていたそうです。利用契約制度へ変わり、利用者が自分の意志で施設を選べる時代になりました。障がい者が主体的に仕事を通して社会に参加できる制度へと時代が変化してきたのです。

＜社会に合わせた自己・自社変革＞

2005年新法が成立し2006年に施行される際、宮共生会にも大きな変化がありました。国からの報酬が減額になると同時に、立ち上げから新規施設の開所や新規事業などとにかく前に進んできた原田さんはふと気づくと周りのスタッフが誰もついてきていないことに気付くのです。スタッフの退職も重なり、何のために仕事をしているのか自問自答が続きます。そこで原田さんは組織づくりに邁進します。組織を守り発展させていくことを決意し、経営理念を作成、組織改革を行い現在の礎を築き直しました。社会福祉事業と就労支援事業の立ち位置と目標をそれぞれ掲げ、就労支援事業においては単純に施設で採れた野菜をその



まま販売するのではなく弁当に加工して販売する。利用者の工賃アップのために付加価値を上げる仕組みを構築してきました。工賃が上がると利用者の生活が豊かになる。そのために施設全体で6次産業化を図っています。

今期からそれぞれの施設を「チーム」として位置づけ、利用者を「メンバー」、職員を「サポーター」としました。また国土交通省のスマートウェルネス拠点整備事業の補助採択を受け、地域交流拠点センター「ごちゃまぜ」を開所。子どもやお年寄りが一人で食事をする孤食を防ぐ効果も期待できます。

＜仲間と共に＞

地域と共に生きる宮共生会。その若きリーダーでもある原田さんは今期県内8支部のうち一番所帯が大きい佐世保支部の第12代目の支部長も務められます。過去の支部長経験者の中では最も若手。労使見解をベースに自社をぶれない組織に変えたその実践力は、人が自然に集まる例会づくりや委員会活動など“ぶれない”支部づくりに大いに発揮されることと思います。「ゴルフが大好き」と笑顔で話す原田さん。原田さんの周りには自然に仲間が集まり、仲間と共にまた大きく自社、地域、同友会が発展していくことを強く感じた時間でした。

＜経営理念＞

我々は障害のある方が、地域と共助共存しながら生活できる共生社会の実現を目指しながら、障害のある方の生活の質が向上していくことを使命として法人の各事業を実行していきます。

－ミッション(社会的使命)－

- ①地域と共助共存のできる共生社会の実現
- ②障害のある方の生活の質の向上

＜企業概要＞

社会福祉法人 宮共生会

〒859-3215 佐世保市早岐1-6-43

TEL: 0956-39-0115 FAX: 0956-76-7665

(文責 事務局 峰 圭太)

新入会員の皆さんです＜6月入会・交代・復会＞ (敬称略)

<入 会>

支 部 名	長崎浦上支部			
氏 名	ささがき かずや 笹垣 和也			
企 業 名	立岩設備			
役 職 名	専務			
企 業 住 所	〒851-1132 長崎県小江原 1-1-20			
T E L	095-841-9301	F A X	095-841-9302	
業 種	管工事業			
企 業 P R	水まわりの困りごとなら、すべて当社におまかせ下さい！			
スポンサー	池田 繁隆			

支 部 名	長崎出島支部			
氏 名	いしだ なおまさ 石田 直正			
企 業 名	(株)Five Innovation (東洋館)			
役 職 名	代表取締役社長			
企 業 住 所	〒854-0621 雲仙市小浜町雲仙128			
T E L	0957-73-3243	F A X	0957-73-2215	
業 種	旅館業			
企 業 P R	雲仙温泉最大の115室を誇る旅館です。最上階には展望風呂があり、夕暮れ時には眼下に見えるおしどりの池に沈む夕日がお楽しみいただけます。			
スポンサー	中村 こずえ			

支 部 名	長崎出島支部			
氏 名	たさき たつや 田崎 達也			
企 業 名	タサキメンテナンスサービス			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒851-0015 長崎市かき道3-11-12			
T E L	095-839-9460	F A X	095-839-9460	
業 種	リフォーム・メンテナンス業			
企 業 P R	住宅リフォーム・メンテナンス・テナント企画・デザイン			
スポンサー	庄司 博昭			

支 部 名	長崎出島支部			
氏 名	やまさき たかひこ 山崎 貴彦			
企 業 名	(有)古川清掃社			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒854-0001 諫早市福田町5-36			
T E L	0957-22-2865	F A X	0957-22-2836	
業 種	一般廃棄物収集運搬			
企 業 P R	浄化槽の保守点検・清掃を行う会社です。			
スポンサー	安井 忠行			

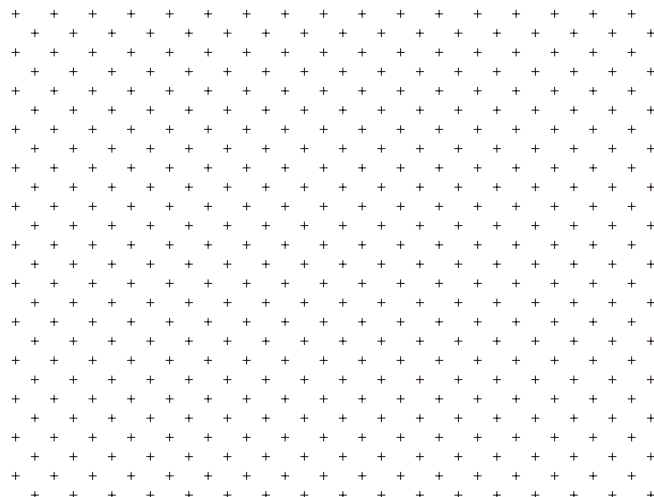
支 部 名	諫早支部			
氏 名	きくち ようすけ 菊池 洋祐			
企 業 名	ソニー生命保険(株)			
役 職 名	課長代理			
企 業 住 所	〒 850-0033 長崎市万才町3-5 朝日長崎ビル9F			
T E L	095-825-2319	F A X	095-825-2329	
業 種	生命保険業			
企 業 P R	金融商品とコンサルティングを通じてお客様の一生涯の豊かな生活や夢を叶えるサポート、また個人や企業マッチングでのご縁の繋がりによるビジネス創出のサポートをさせていただきます。			
スポンサー	佐野 充宏			

支 部 名	島原支部			
氏 名	かどはた まさし 門畑 正志			
企 業 名	K's Craft			
役 職 名	代表者			
企 業 住 所	〒859-2605 南島原市加津佐町乙3985-2			
T E L	0957-61-1070	F A X		
業 種	レーザー加工業			
企 業 P R	石材、木材、アクリル、ガラス、革製品へのレーザー加工（彫刻、切断）品の販売			
スポンサー	北村 貴寿			

支 部 名	佐世保支部			
氏 名	おくだいら あきお 奥平 昭夫			
企 業 名	(株)ミルクボーイ			
役 職 名	代表取締役			
企 業 住 所	〒857-1161 佐世保市大塔町 1750-1			
T E L	0956-34-7746	F A X	0956-34-7787	
業 種	乳類販売業(宅配事業)			
企 業 P R	ミルクボーイは、(株)明治の製品を主とした「医と食の間の商品」を取り扱い、「食」を通してより健康で幸せな生活に貢献できる「新しい価値」を届けさせていただくことを目指しております。			
スポンサー	直江 弘明			

A 10x10 grid of plus signs (+) on a black background, representing a sparse matrix. The plus signs are arranged in a regular grid pattern, with one plus sign in each cell of the 10x10 grid.

支 部 名	佐世保支部		
氏 名	まわたり けいいち 馬渡 圭一		
企 業 名	佐世保フロンティア法律事務所		
役 職 名	弁護士		
企 業 住 所	〒857-0862 佐世保市白南風町1-13 JR九州佐世保ビル3F		
T E L	0956-59-7986	F A X	0956-59-6766
業 種	弁護士		
企 業 P R	「市民の皆様がアクセスしやすい法律事務所」 「スピーディーに対応する法律事務所」 「ご依頼者に誠実に向き合う法律事務所」を目指して、様々な 事件解決のため、日々取り組んでおります。		
スポンサー	野田 洋市		



<交 代>

支 部 名	長崎浦上支部		
氏 名	えのきや たけし 榎屋 健		
企 業 名	(株)長崎新聞文化ホールアストピア		
役 職 名	常務取締役		
企 業 住 所	〒852-8104 長崎市茂里町3-1		
T E L	095-844-2121	F A X	095-848-4856
業 種	カルチャー・料飲・貸ホール		
企 業 P R	長崎新聞社の100%出資子会社で、書道の振興を図る書道会の運営やカルチャーセンター、茂里町本社屋内の喫茶「ザ・プレス」、貸ホール、パーティー等の事業を展開。		
前 会 員	古川 信利		



<復 会>

支 部 名	長崎浦上支部		
氏 名	いのせ てっぺい 一ノ瀬 哲平		
企 業 名	(株)I.C.K		
役 職 名	代表取締役		
企 業 住 所	〒850-0079 長崎市みなと坂2-8-5		
T E L	095-865-5846	F A X	095-801-7151
業 種	船舶造修業		
企 業 P R	弊社は、主に船舶造修に携わっております。若い力を十分に 発揮し、地域・社会に貢献していきます。		
スポンサー	西山 展司		



長崎全研

2019年は長崎にて中小企業問題全国研究集会が開催されます!!
2019年2月(予定)開催まで

あと

19

ヶ月!!

V・ファーレン長崎



応援マツト

ダスキン栄進 電話 095-823-7633

瀧川 隆 会員 (長崎出島支部)

広告募集

< 4cm x 9cm >

複数月 割引	6ヶ月	12,000 → 10,000
	4ヶ月	8,000 → 7,000
	3ヶ月	6,000 → 5,000

8月例会案内

他支部の例会情報は、ホームページや e.doyu から閲覧・参加申込可能です。

●長崎浦上支部

日 時 8月18日(金) 18:30～21:00
会 場 長崎新聞文化ホール アストピア
テ — マ 業界により異なる働き方の特徴と信頼される就業規則について
報 告 者 大坪総合法律事務所 所長
大坪 孝聡 会員

弁護士として活動する中で会社(労務)に関わる業務も多かったことから社労士の登録を行い、昨年自らの事務所を開設されました。弁護士・社労士の登録以前、福岡県にある水族館において社員として働かれていました。社員としての実経験を踏まえた法律家の立場から、働き方(労働時間)や就業規則についての議論を深める報告を行っていただきます。

●長崎出島支部

日 時 8月23日(水) 18:00～21:30
会 場 サンプリエール
テ — マ 10年後の夢を語ろう!!
報 告 者 (株)ニッシン 代表取締役 伊崎 孝幸 会員
(株)岩崎商事 代表取締役 岩崎 誠一 会員
(株)アクタス 代表取締役 大串 昭嘉 会員
五島灘酒造(株) 専務取締役 田本 佳史 会員

人工衛星の燃料タンクの開発を主に頑張られている伊崎さん、飲食業界からホテル経営と幅広く活躍されている岩崎さん、新車から中古車まで、日常には欠かせない車販売の大串さん、五島列島からおいしいこだわりの地酒を届けるべく日々焼酎造りにこだわる田本さんの異業種4人が語るそれぞれの10年後の未来や夢を聞いて一緒に自分の未来を考えて行きましょう!!

●大村支部

日 時 8月17日(木) 18:30～21:30
会 場 おおむら夢ファーム シュシュ
内 容 納涼例会

会員ご家族の皆様へ感謝の気持ちをこめて、また会員相互の親睦を深める事を目的とし、納涼例会を開催いたします。

●諫早支部

日 時 8月23日(水) 18:30～21:00
会 場 諫早観光ホテル 道具屋
テ — マ 昭和から平成を生きる 我が人生に悔いなし～脱サラ!そして同友会との出会い～
報 告 者 森塗料店 代表者
森 千尋 会員

昭和と平成の比較。脱サラ起業後の苦楽、同友会との関わりと経営理念。

●島原支部

日 時 8月24日(木) 19:00～21:15
会 場 HOTEL シーサイド島原
テ — マ 自社の成長と増益経営を目指す経営計画書～(株)荒木工務店の挑戦～
報 告 者 (株)荒木工務店 代表取締役
荒木 博 会員

同友会に入会して早3年、様々な人との出会いやそれによって知ることが出来た新たな学びの場のおかげで、数多くの知恵や力を吸収することが出来ました。それらを自社に持ち帰り実践することによって新たな学びを得て、そのサイクルの中で新たな経営計画書が完成しました。荒木さんの想いと会社のビジョンを熱く熱く語っていただく経営体験報告、是非ともお問い合わせの上、お越し下さいませ!!

●佐世保支部・北松浦支部合同例会

日 時 8月25日(金) 17:30～21:40
会 場 九十九島ベイサイドホテル&リゾート フラッグス
テ — マ 一病息災
～困難に立ち向かえば、人は大きく変わる!!～
報 告 者 (株)長崎地研 代表取締役社長
村山 隆之 会員

8月例会は、佐世保支部重鎮であります村山さんの報告のもと【佐世保支部・北松浦支部合同納涼例会・同友会を知る会】を開催いたします。村山さんは、35歳で心臓の病気というピンチ・時を同じくして会社の方も仕事がないというダブルピンチの「大変」な状況を乗り越えられ、その中で、同友会での学びをご自身にとって大きな原動力とし、佐世保支部では唯一早く(平成8年10月)から経営計画発表会を毎年継続されています。現在も様々な活動に精力的に参加されている、パワー溢れる村山さんの報告は、勇気と力をいただける事間違いなしです!!

●五島支部

日 時 8月19日(土) 19:00～21:00
会 場 三井楽町 五島トラック建設(有) (谷川 喜一 会員) 車庫
内 容 納涼例会

納涼例会を行います。夏の暑さも何のその!同友会会員の熱き結束にて暑さも溶かしてしまいます。五島の美味しい食材を囲み、会員同士の絆をさらに深めてパワーアップします。ご家族、知人お誘いあわせの上ご参加お願いいたします。

●青年経営者会

日 時 8月27日(日)
会 場 長崎ラッキーボウル & かリーによ
内 容 サマーイベント

投稿募集のご案内

DOYU ニュースでは会員の皆様の投稿を募集しております。
企業訪問や支部・地区会等の行事や取り組みなど紹介下さい。

●文字数/約 500 字

●画像/歓迎します

☐掲載/情報広報委員会にて選考

☐投稿先/情報広報委員または同友会事務局まで

☐メール/jimu@nagasaki.doyu.jp



7月理事会 議事録 抜粋

7月5日(水) 19:00～21:00 つくば倶楽部 出席18名 欠席5名

開会挨拶－松尾代表理事

6月6日は憲章キックオフ会議があり、長崎からも多くの国会議員の方に参加いただきました。明日からは愛知で中同協の定時総会があります。私と横田支部長が分科会報告の大役を仰せつかっており、準備万端です。私たちの報告を開けない方はぜひ、9月の役員研修会でよろしく願います

仲間づくりについて

1)入会・復会交代・退会の承認について
－9名の入会、1名の復会・交代、2名の退会を承認

2)仲間づくりの進捗状況・具体的活動状況について

西山仲間づくり委員長総括－(西山委員長欠席のため、理事会資料の委員会報告を確認)

(松尾代表理事)

西山委員長が燃えていますので、皆さんご協力お願いします。皆さんに決めていただいた各支部の目標を、支部長と支部仲間づくり委員長が中心になって、どうやって達成するの取り組みをお願いします。年内に達成できるようよろしくお願いします

協議・承認事項

1)第47回定時総会の開催場所について

(前回理事会決議事項)

・来期の総会場所について、ホテルニュー長崎が改装工事期間となることから、開催地について各支部立候補を募り、手が上がらない場合長崎で開催する

→第47回定時総会開催場所を諫早とすることを承認

2)第24回経営フォーラムについて

(前回までの決定事項)

→日程を10/13(金)、会場を長崎ロイヤルチェスターホテル、記念講演者：神奈川同友会 (株)湯佐和 代表取締役 湯澤 剛氏、分科会報告者とテーマについて

長崎出島支部 伊藤 弘和会員(テーマ：ダイバーシティ)、佐世保支部 橋口 久会員(テーマ：経営指針)、長崎浦上支部 古里 久則会員(テーマ：共育)

テーマ「『覚悟!』～自分への覚悟! 未来への覚悟! あきらめない覚悟!」
参加費5,000円

※今後の進捗は実行委員会に一任する(都度理事会へは報告)

(今回確認および提案事項)

マニュアルに関して特段の意見がなかったため今後マニュアルをベースにフォーラムづくりを行っていただき随時マニュアルに追加等行っていくことを理事会で確認する

→上記を確認

(岩実行委員長)

チラシの製作状況が大詰めであることを報告。8月より支部例会にてキャラバンで訪問することを依頼。全体会に関しては、タイムスケジュール・司会が決まり、懇親会も内容を詰めていること、記念講演者の湯澤さんと5月に会い、打ち合わせを終えたことを報告

3)2017年度役員研修会について

(前回理事会までの決定事項)

9月9日(土) 第1部 研修会 13:30～17:20

第2部 懇親会 17:30～ 会場：長崎新聞文化ホールアストピア

(今回提案事項)

名称、参加費について

→名称に関してサブタイトルに中同協総会in愛知、第18分科会のニュアンスを盛り込んだ内容とし、「2017年度役員研修会～中同協定時総会 分科会報告から長崎の事例を学ぼう～」を提案。また参加対象に関しては各支部の役員とし、案内を流す。役員以外の方に関しては各支部独自に候補者あるいは受けていただきたい方を決めお誘いする。最低各支部10名の参加を必達とする。

(総じて)

名称を理事から募集(7月14日締切)、その後理事会メーリングをし、三役会で名称と予算案と動員目標を協議し、8月理事会に上程。8月理事会で承認後、翌日に案内を出し動員を図っていただくことを確認。報告内容は中同協定時総会の分科会報告を終えて、役員の心構えを補足することを確認。また7月役員会から動員の声掛けを行うことを確認

4)同友会領収証のあり方について(確認事項)

→中同協財務委員会を受け、例会時等同友会の領収証を発行することについて

(今回確認事項)

石橋財務委員長と打合せの結果、参加費を預り金計上し、支出と相殺する方法が望ましいが、結果的に取り扱い金額が年間1000万円を超えないため、県・各支部とも全てを預り金計上する必要はないのではないか。従って会計処理の方法に関しては現状通りで行う

(石橋財務委員長より補足説明)

再度消費税の対象となるものが、1000万円を超えないと確認が取れば現状通りの会計処理とする。会員が増えて、課税の対象となる可能性がある場合は再度協議を行う

5)議案書「規定」の文言変更について

(三役会案)

「規程」…賃金規程、退職金規程など文書のタイトルに使われるもの

「規定」…規程の中の一つひとつの条文のこと

現状議案書は全て「規定」とあるため、来期から「規程」の文字へ修正する

※規程変更に関しては理事会承認事項

→三役会案を承認。各支部の支部規程においても該当する場合、修正いただくことを依頼

報告・連絡事項

1)6月 県本部・各委員会・各支部等の活動状況について

【政策委員会】

(理事会時補足)

①7月は景況調査実施月のため、各支部例会にて用紙を配布します。記入の時間をとっていただけるようお願いします

②8月4日に県産業労働部との意見交換会を開催します。今回は初めて産業労働部長をお招きし、松尾代表理事との対談を行います。理事の皆様、ぜひ参加をお願いします

2)例会について(更なる例会の充実をめざして)

各支部の例会内容・出席率・返信率についてヒアリング等ありました。

3)中同協 主要行事の紹介

理事は年1回、支部役員は2年に1回は全国大会に参加しましょう！(申し合わせ事項)

(敬称略)

6月6日(火)	憲章キックオフ集会・拡大中小企業憲章・条例推進本部会議(総括会議)／東京 松尾代表理事・金井副代表理事・峰事務局次長
6月15・16日(木・金)	第20回 女性経営者全国交流会／富山／5名 ・浦上-金田⑦ 吉澤③ ・出島-中村⑥ ・北松浦-宮田② ・事務局-田口④
7月6・7日(木・金)	第49回 定時総会／愛知／12名 報告：松尾代表理事・横田島原支部長 座長：山額元仲間づくり委員長 ・長崎出島-中村⑧ 山口絵⑧ ・大村-金井① 宮田② ・佐世保-中村⑨ 原田④ 村上⑩ 村山⑩ ・事務局-峰⑩(記録)
8月31日・9月1日(木・金)	経営労働問題全国交流会／京都／現在3名 ・大村-宇土② ・佐世保-橋口① ・事務局-峰③
9月14・15日(木・金)	第45回 青年経営者全国交流会／茨城
10月5・6日(木・金)	組織強化・増強・拡大全国交流会／東京
10月19・20日(木・金)	第19回 障害者問題全国交流会／広島
12月7・8日(木・金)	共同求人・社員教育活動全国交流会／島根
2月8・9日(木・金)	第48回 中小企業問題全国研究集会／兵庫／キャラバン開始

- 4) 6月2日(金)純心大学との包括連携協定調印式報告
(参加者: 松尾代表、松本共有委員長、吉澤支部長、中村支部長、峰事務局次長)
(中村支部長)
調印式の様子がテレビで放映されました。長崎出島支部の西山共有委員長が段取りをし、先日第1回会議を行いました。意見交換を行い、できればこの場に学生も参加し、どういったことを求めているのか聞かせていただきたいをお願いをしました。まずは8月にインターンシップを行います。詳細はe.doyu掲示板をご覧ください
- 5) 6月10日(土) 大村市産業支援センター開設記念セミナー参加報告
(宮田委員長、宇土委員長、馬場支部長、田口事務局員)
(宇土委員長)
大村支部が中心となって動き、実現した大村市産業支援センターですが、どういったことを行うのか説明がありました。地元の企業と市とセンターがいかに関わっていくのかということや、大村市だけでなく近隣の地域からも受け入れるとのことが話されました。7月3日より相談業務がスタートしており、今後に期待ができる開設記念のセミナーでした
- 6) 6月6・7日(火・水)中同協憲章・条例推進月間キックオフ会議、九州・沖縄ブロック代表者会議、中同協財務委員会および中同協第5回幹事会参加報告(松尾代表、金井副代表、峰事務局次長)
(金井副代表理事)
初めてキックオフ会議に参加し、全国で同友会の認知度が上がっていることを感じました。幹事会では、私自身の悩みを聞いてもらうことができ、非常に身になる幹事会でした
(松尾代表理事)
幹事会の参加者が年々増えています。私一人の参加ですと、長崎の皆さんに幹事会の良さが伝わらないので皆さんぜひ参加してください。たくさんの会員が参加している県は元気な県が多いです
(峰事務局次長)
キックオフ会議では中小企業庁より、人手不足対応ガイドラインと事例集の報告がありました。e.doyu掲示板に記載していますので、ぜひご一読ください
- 7) 6月15・16日(木・金)第20回女性経営者全国交流会参加報告(吉澤支部長、中村支部長、田口事務局員)
(吉澤支部長)
女性ならではの目線を学ぶために毎回参加しています。経営指針に則っての経営、経営指針を落とし込むことの大切を学びました。今回のTTPは毎月のスローガンを徹底して行うことです
(中村支部長)
分科会報告から市長と企業の距離が非常に近い事例を学びました。また、女全交に参加するたびに、男性の参加者が増えていることを感じます。女

性が元気なところは同友会活動も活発です。
※2018年1月に神奈川同友会の支部例会での中村支部長への報告の依頼があったことを峰事務局次長より補足

8) 6月27日(火)中小企業のための反社会的勢力排除研修開催報告(山口善委員長および参加者)
(山口善委員長)
大村支部の鮎川さんと佐藤さんに講師を務めていただき、映像を使いながら分かりやすく説明していただきました。トラブルが起こった時のため、起こらないようにするための準備をしておくことの大切さを具体的な事例とともに教えていただきました。各支部依頼があれば、同様の研修を行っていただけるということですので、ぜひお声をかけ

9) 6月28日(水)「U・Iターン人材採用で飛躍的な企業成長を」セミナー参加報告
(峰事務局次長)
3Winとは「長崎県プロフェッショナル人材戦略拠点:プロナ」…内閣府の事業、「産業雇用安定センター」…厚労省の外郭団体、「ながさき移住サポートセンター」…長崎県と21市町で運営の3機関が共同で行う「U・Iターンや中途採用メイン」のプロジェクトです。詳細はe.doyu掲示板をご覧ください

10) 6月28日(水)「第14回みらい創造セッション」参加報告(松尾代表、原田支部長、橋本青経会長、峰事務局次長)
(松尾代表理事)
こういった場で中小企業の良さを伝えて行かなければと思いました
(峰事務局次長)
8月8日のセッションでは今回の内容をさらに深掘りします。e.doyuにて案内をしますので、ぜひご参加ください

11) 同友会ポスター配布状況報告(6月2日:十八銀行へ松尾代表、峰事務局次長で訪問、納品済み)

12) 3ヵ月会費滞納者についてーなし

13) その他
・佐世保支部 原田会員 理事長就任の祝電を報告
・ダイバーシティ委員会第7回例会開催報告

(菅原委員長)
認知症への理解を深めるための例会でした。多くの方に認知症を理解していただけましたが、経営者として具体的な話を聞きたかったという意見もあり、シミュレーション不足を感じました。8月29日は第8回例会をサンプリエールで行いますので、しっかりとシミュレーションをし準備を進めていきます

会員消息

●企業住所等変更

金田 昭子 会員 (長崎浦上支部)
新住所: 〒810-0074 福岡市中央区大手門2丁目4-8 ポルトデュボヌール702
新TEL番号: 090-5930-5527 新FAX番号: 092-725-5205

末永 真理 会員 (島原支部)
新住所: 〒855-0801 島原市高島1丁目442 酒楽喰ビル1F

原田 良太 会員 (佐世保支部) **立木 良宗 会員** (北松浦支部)
新役職: 理事長 新住所: 〒859-4821
平戸市田平町久保免45

会 員 数 (7月1日現在)

	浦上	出島	大村	諫早	島原	佐世保	北松浦	五島	合計
目標	135	115	100	90	75	150	55	35	755
期首	110	87	79	72	61	124	44	25	602
現在	110	88	77	72	62	126	42	26	603

退 会 者 (敬称略)

会員名	会社名	支部名	入会年月
入江 文 敏	インハウス(株)	長 崎 浦 上	2013年12月
加悦 良 康	(株)小島工作所	長 崎 出 島	2016年7月交代

「退局のごあいさつ」

このたび、一身上の都合により退局させていただくことになりました。わずかな期間ではございましたが、皆様との出会いと事務局での経験は、私の人生でたいへん貴重な財産になりました。心より感謝いたしております。
今後とも皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げますと共に、厚くお礼申し上げます。
大変お世話になりました。

宮崎 勝子